

SHD インターベンションコンプリートガイド

新浪博士

東女医大教授・心臓血管外科

2013年に経カテーテル大動脈弁留置術（TAVI），そして2018年に経皮的僧帽弁形成術（MitraClip®）が保険償還されるようになり，今や構造的な心疾患に対するカテーテル治療“structural heart disease（SHD）インターベンション”は多くの患者さんに対する有効で画期的な治療法であることが認知された．特にTAVIに関しては，その良好な成績から外科的手術中等度リスク症例や二尖弁症例にも徐々に適応が拡大され，もはや日常診療の一部として取り込まれつつある．また，経カテーテル僧帽弁置換術・肺動脈弁置換術や三尖弁閉鎖不全症に対するカテーテル治療なども海外ではすでに進んでおり，今後さらに発展していく分野と考えられる．

この分野の治療法の最も大きな特徴は，治療がインターベンション医のみでは完結せず，心臓血管外科医，循環器内科医，麻酔科医，放射線科医，臨床工学士，看護師，放射線技師などのスペシャリストから成る，いわゆる「ハートチーム」の形成が

大変重要であるということである．本書はSHDインターベンションの全てを網羅しているだけでなく，ハートチームのどの職種にも読みやすく，一読すれば治療の概要が理解できる構成になっている．

その特徴として，構造的な心疾患のそれぞれの病態生理・解剖がまず説明されており，それに引き続いて診断，最新のガイドラインによる重症度評価・治療適応が述べられ，最後に一般的な外科的治療，最新のカテーテルインターベンション治療がその成績と共に詳しく解説されている．カテーテルインターベンションの手技の解説だけではないので，循環器内科医や心臓血管外科医が日常の診療のハンドブックとして，あるいは普段循環器疾患に携わっていない他職種が疾患の病態生理から治療の完結まで理解するための，その名のとおりコンプリートガイドとして有用であることは疑いの余地はない．

さらに近い将来本邦に導入されるであろう新しいデバイス，新しいカテーテルインターベンション治療が，

最新のトライアルの状況とその成績と共に数多く紹介されている．今後SHDインターベンション治療を志す若手心臓血管外科医，循環器内科医をはじめとするハートチームには非常に魅力的で，無限の可能性を秘めた分野に携わっているという自覚を高められる唯一無二の書籍と考えられる．

SHDインターベンション治療は急速に発展している分野である．今後患者さんに最善の医療を提供していくためには，欠かせない治療，あるいは治療の中心になりつつある．本書を手にしたSHDインターベンション治療に携わる全ての職種が，必ずやハートチームとして患者さんの安全・利益のために最善の治療を提供していると自覚し，さらなる知識・経験の取得の一助になると確信している．

●B5/頁 456/2019 年

定価：本体 13,500 円＋税

[ISBN978-4-260-03667-2]

医学書院 刊